

## 第4回堺市堺区区民評議会（堺区選出市議会議員との意見交換会）主な意見

（湊上議員）

- ・町家に係る住民意識のさらなる向上は大切なことである。
- ・点在して整備するのではなく、集中して整備することで魅力ある街並みになる。まちなみ保全に向けた補助制度もあるが、予算を増やし、改修のペースを上げることが必要ではないか。

（大毛議員）

- ・町家の改修に向けて、所有者の協力を得るため、個人負担を少なくする補助金のあり方を検討していく必要がある。また、今の10倍くらいの予算をとって、進めないといけないと考えている。
- ・京都など、他地域と同じやり方でなく、堺独自のやり方をしていく必要もある。

（上村議員）

- ・町家のポテンシャルが高いが、所有者の高齢化などもあり、十分に生かしていない。必要としている人につなげていくしくみが必要である。キーテナントをつくっていくことが重要である。
- ・行政としては、取組が一層進むよう規制緩和を進めることが必要である。例えば、大道筋の道路幅を活かす取組を進めるような緩和を行政として、進めてはどうか。

（成山議員）

- ・大道筋の良さを知っている人が少ない。堺の道として、大道筋をもっと発信していかないといけない。もう一度行きたい町というのは、町全体が生み出す雰囲気があるのではないか。
- ・他市にない特色をつくり、戦略的に発信しないといけない。例えば、大道筋に桜の木を植え、チン電で花見ができると道としての魅力が上がるのではないか。

（裏山議員）

- ・来訪者の視点での環境整備も大切だが、住んでいる人にとっても周辺環境がよくなることが重要である。

（西村議員）

- ・外国人観光客が見て回れるような場所が少ない。これらをつくっていく必要がある。

（間宮委員）

- ・この度、空いている町家などを活用したレジデンスを大道筋につくった。このように空いているところを活用し、地元で雇用を生むような施設をつくるのが地方再生に

つながるのではないかと考えている。

- ・全国的にも都心でこのような施設が少なく、関空に近いことから、外国人観光客の関心を引くこともできるのではないか。外国からの来訪者が増えてきた今だからこそ、この動きを進めていきたい。
- ・民がしかけて、行政がそれをバックアップしていくしくみをつくる必要がある。

(川上委員)

- ・住民意識を高め、町に誇りを持たせていくことが必要である。
- ・町家の保全についても、点ではなく面で整備することで、魅力的なまちなみにつながるのではないか。
- ・魅力ある町に共通するのは「水」である。堺にも内川・土井川があるが、一部しかないので、環濠の感覚がない。
- ・外国人観光客の関心が高いのは、古墳、伝統産業、日本庭園。古いものが好きである。

(佐野委員)

- ・もう一度行きたいと思えるものをつくる必要がある。ツアー・オブ・ジャパンにおいても住民の関心が少ないのではないか。
- ・行政からの広報の充実も必要である。

(湯川委員)

- ・今後、人口減少・高齢化が進む中で、子育て世代を誘導するのか、観光客を誘導するのか、今後の戦略を見据えたうえで、各論を検討する必要がある。

(西村議員)

- ・中心市街地再開発やLRTなど、その代案がなく、動いていないように思える。

(矢本委員)

- ・課題意識を持っているのは確かだが、計画変更を受け、現在は粛々と進めている。
- ・周りの地域を巻き込んでいくことが重要であると考え、取組を進めている。イベントをきっかけにしたコミュニティづくりをしているところである。

(大毛議員)

- ・交通の便がよいから、人が集まるのではない。そこにしかないものがあるからこそ、人が集まる。そういったものをつくり、生かしていくことが必要である。

(淵上議員)

- ・心地よい空間やおもてなしなど、自分の町を好きになったり、リピーターとなったりするようなものをつくっていくことが必要。
- ・無電柱化や路面舗装など、まち全体の雰囲気をつくっていくことも必要。
- ・規制緩和だけでなく、景観など規制をかけていくことも必要。

(間宮委員)

- ・いろいろな情報はあがるが、それをまとめた情報サイトがない。民間主体でそういったものをつくっていきたい。

(桂委員)

- ・イメージのわくような議論を進めないといけない。

(岩田会長)

- ・堺で宿泊する人が多いが、夜の堺を楽しめるメニューを用意することも必要。